



(トマト)

令和6年8月28日発行

グリーンタイム

渡島農業改良普及センター

TEL 0138-77-8242(代表) FAX 0138-77-8187

病害虫の発生に注意！

日中の最高気温は25℃を超える日が続いていますが、夜温は低下してきており、一部病害虫の発生が増えています。

ほ場で発生が見られた際には、下記の薬剤を参考に防除を行いましょう。

1. コナジラミ類

- ・23℃～28℃が生育適温であり、適温下では1ヶ月で世代交代する。
- ・密度低減のため黄色粘着板の設置や、ハウス周囲の草刈りなどを行う
- ・多発時は様々な世代が混在しており、成虫と卵は主に上位葉に、幼虫と蛹は下位葉に多く寄生しているため、作用機序の異なる薬剤を株全体に散布する。

＜防除薬剤例＞

薬剤名	RAC コード	浸透※ ¹ 移行性	希釈倍率	使用時期 収穫前日数	使用回数	マルハナバチ 影響日数
アプロードエースフロアブル※ ²	21A 16	×	1,000～2000倍	前日	3	1日
ディアナSC	5	△	2,500倍	前日	2	1～3日
グレーシ乳剤	30	●	2,000倍	前日	2	1日
ベネビアOD	28	○	2,000倍	前日	3	1日
トランスフォームフロアブル	4C	○	1,000～2000倍	前日	2	2～5日

※1○：浸透移行性が認められる ●：浸達性のみ認められる △：浸透移行性が認められるが強い ×：認められない
 ※2 脱皮阻害剤のため成虫へ殺虫効果は無い

2. うどんこ病

- ・20℃～28℃が生育適温である。
- ・夜温の低下により、側窓を閉めるようになると発生が増加する。
- ・病斑が現れるまで1週間前後の潜伏期間があるため、病斑が見えなくても感染している可能性がある。
- ・ハウス周囲の雑草からも感染するため、周辺の草刈りが効果的である。

＜防除薬剤例＞

薬剤名	RAC コード	浸透※ ¹ 移行性	効果の 発現	希釈倍率	使用時期 収穫前日数	使用回数	マルハナバチ 影響日数
プロパティフロアブル	50	×	予	3000倍	前日	2	影響なし
テーク水和剤	M3 3	×	予・治	800倍	前日	2	1日
ファンベル顆粒水和剤	M7 11	×	予・治	1000倍	前日	3	1日
アフエットフロアブル	7	●	予・治	2,000～4000倍	前日	3	1日

※1○：浸透移行性が認められる ●：浸達性のみ認められる △：浸透移行性が認められるが強い ×：認められない